

## 2 栄養改善活動

保健所の栄養改善活動としては、食事情・栄養状態の良くない避難所生活者に対し巡回栄養指導や粥類、栄養補助食品等の配付およびアレルギー患者へのアレルギー用食品の配付等を行い、仮設住宅対策として香川県・岡山県から栄養指導車を借受け、仮設住宅とその周辺を巡回し、栄養講習会を開催した。また、集団給食施設の被災状況調査も、6月1日から全市一斉に実施した。

### (1) 避難所等への栄養改善活動

#### ア 避難所巡回栄養指導

震災後3月まで、避難所等を回って、全市で1,512件の相談・指導を実施した。

対象別個別指導件数（生き生き健診結果説明を含む。）

成人	病母	子	その他	合計
932		113	530	1,575

月別個別指導件数（生き生き健診結果説明を含む。）

1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
47	275	901	287	29	34	1,575

#### イ 避難所における食事状況・炊き出し状況調査及び指導

避難所における食事状況及び栄養状態を把握するため、1月23日より保健所管理栄養士が巡回調査し、同時に避難者へは喫食時における留意点を、炊き出しボランティアへは調理内容・食品の取扱等の留意点を助言した。

〔内容：水・熱源・救援物資を含む食品の種類や量、近隣の商店及び飲食店の開設状況、清潔の保持や衛生管理・炊き出し状況・病弱者の状況等〕

各保健所調査状況（2月末現在 件数）

	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	全市
食事状況	155	36	71	60	21	105	144	43	6	641
炊き出し状況	124	37	71	20	6	60	42	0	0	360

#### ウ 避難所での炊き出しに対する支援

避難所での炊き出しをきっかけとし、栄養改善への意識づけや、自発的な食事への取り組みを促すなど、避難者の健康状態の悪化を防ぐため、2月から3月にかけて、全市で37回、11,345食分の支援・指導を行った。

支援の範囲は、①管理栄養士・栄養士が行うもの、②炊き出し内容が栄養改善につながるもの、③県栄養士会を通じて依頼のあったもの、とし、区役所との調整及び広報等の支援も行った。

#### エ 避難所・救護所への救援物資の手配、配布、食品指導

避難所の状況把握等及び避難所、救護所の要請により管理栄養士が救援物資の手

配や配布をすると同時に食品指導も行った。

全市配布状況

(3月末現在 件数)

粥 類	糖尿病食	ベビーフード類	栄養補助食品	調整栄養食品	合 計
233	77	119	350	97	876

オ アレルギー患者への相談とアレルギー用食品の支援

アレルギーネットワーク団体より、支援物資が届けられ、医薬品集積センターに保管し、各保健所を拠点として、市民へ配布することとした。

各保健所のアレルギーに関する相談・問い合わせ・食品の配布 (3月末現在 件数)

東 灘	灘	中 央	兵 庫	北	長 田	須 磨	垂 水	西	全市
57	31	18	13	11	8	95	47	7	287

☆アレルギー食品の種類

- ・菜種サラダ油
- ・A-1ソフトマーガリン
- ・玄米全粒粉
- ・ひえ、ひえ粥、ひえ麺
- ・あわ、あわ粥、あわ麺
- ・米醤油、米みそ
- ・ダイズノン醤油
- ・ラビソーセージ
- ・メルフィッシュスティック
- ・ひえ御飯、ひえ飴
- ・離乳食類
- ・アレルギー対応ミルク類
- ・果汁類
- ・乾燥野菜類 (大根葉等)
- ・オートミール
- ・コーンフレーク
- ・ポップコーン
- ・アマランスビスケット
- ・たらせんべい
- ・C a ウエハース
- ・ピクニックハンバーグ等レトルト食品類等

カ 糖尿病患者への支援

食事療法等の自己管理ができなくなった人達への援助として、管理栄養士が業者に協力を求め、糖尿病用医療食 (冷凍調理済み食品等) を確保し、被災6区で2月から3月の間、46件の配布と相談を行った。

キ 乳幼児栄養相談 (定例外) の実施

乳幼児健診が中断していたので、予防接種等の来所機会をとらえ、また、臨時相談日を設けて、3月～5月で24回・286件の相談を実施した。

(2) 集団給食施設被害状況調査

ビルの倒壊やライフライン等の寸断により、各保健所管内の病院や集団給食施設も多く被害が予想された。当初は巡回等により363件の状況把握をおこなったが、ライフライン等も落ち着いた6月1日付けで、全市890施設 (公立小学校170施設を除く) に対して、ハガキによる震災被害状況調査を行った。(872施設 回収率98%)

施設全体の被害は、全壊 (焼)・半壊 (焼) が全市で20%、一部損壊が47%、被害無しが33%であり、給食施設 (厨房・食堂) の被害は、全壊 (焼)・半壊 (焼) が15%

、一部損壊が36%、被害無しが49%であった。6月1日現在まだ全施設の17%（147施設）が平常通りの給食運営ができていない。

各区給食施設被災状況

（6月1日現在 施設数）

	施設数	把握数	施設全体の被害状況				給食施設の被害状況				運営状況			
			全壊	半壊	一部損壊	被害なし	全壊	半壊	一部損壊	被害なし	平常通り	縮小	休業中	廃止
東灘	111	108	14	16	60	18	11	6	49	42	86	7	7	8
灘	56	55	6	8	26	15	7	8	19	21	43	7	2	3
中央	189	189	32	32	94	31	29	24	78	58	129	15	25	20
兵庫	74	74	10	7	49	8	7	6	40	21	57	10	6	1
北	96	93	0	1	53	39	0	1	33	59	91	2	0	0
長田	85	79	14	17	37	11	12	6	38	23	58	7	10	4
須磨	80	78	8	6	38	26	8	3	29	38	69	3	5	1
垂水	71	68	0	5	44	19	0	3	22	43	65	1	2	0
西	128	128	0	0	6	122	0	0	4	124	127	0	1	0
全市	890	872	84	92	407	289	74	57	312	429	725	52	58	37

給食施設種類別（公立小学校を除く）被災状況

（6月1日現在 施設数）

	施設数	把握数	施設全体の被害状況				給食施設の被害状況				運営状況			
			全壊	半壊	一部損壊	被害なし	全壊	半壊	一部損壊	被害なし	平常通り	縮小	休業中	廃止
保育所	159	158	10	10	77	61	8	8	61	81	146	4	8	0
他の学校	24	20	1	3	12	4	2	2	8	8	17	2	1	0
病院	112	112	9	16	58	29	7	8	49	48	100	7	2	3
事業所	288	285	39	35	118	93	37	21	91	136	208	16	34	27
社会福祉	104	104	4	6	51	43	2	3	31	68	101	2	1	0
矯正施設	2	2	2	0	0	1	1	0	0	0	2	2	0	0
寮	56	54	4	5	28	17	4	3	19	28	49	1	2	2
センター	60	54	15	12	13	14	13	10	14	17	27	17	5	5
学生食堂	85	83	2	5	49	27	1	2	39	41	75	3	5	0
合計	890	872	84	92	407	289	74	57	312	429	725	52	58	37

（センター・・・ 一般給食センター）

### (3) 仮設住宅への栄養改善活動

震災に伴うライフラインの寸断や長引いた避難所生活等による偏った栄養摂取状況の改善を図り、食生活自立へのアドバイスを行うため、4月25日～6月29日まで、香川県・岡山県より栄養指導車を借り受けて、仮設住宅及びその周辺地域を巡回して栄養講習会を開催し、住民の健康回復に努めた。3月に各避難所で実施した生き生き健診の結果では、中性脂肪値の増加や貧血・高血圧傾向がみられた。原因としては、食事の糖質・脂肪・塩分過多、鉄・ビタミン不足、寒さ・ストレス等が考えられた。また、避難所から仮設住宅に移った後、日常の食生活に戻る意欲を無くした人達も多い

と思われたため、“おいしい！簡単！安い！ヘルシークッキング”をキャッチフレーズに、実演・試食を取り入れて食生活への関心を促した。参加者も1回平均49人と多く、食生活自立への意欲も伺え好評であった。

各保健所栄養指導車による栄養講習会実施状況（6月末現在）

	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	全市
実施回数（回）	4	5	6	3	3	6	5	5	7	44
参加者数（人）	396	248	249	180	190	161	141	288	298	2151
個別相談（人）	9	34	29	69	26	5	5	25	1	203

